

項目	入力欄	入力の際の注意
科目名	教養演習	必須
教員名	清水晶紀	必須
授業概要とねらい	<p>【テーマ】 大学1年生は「大人」？ - 現代社会における「大人」の基準を探る</p> <p>【概要】 大学になると、少なくとも、大学の中では原則として「大人」として扱われます。高校までと違って、授業の選択や出席もみなさんの判断に委ねられますし、服装や生活を大学が制限することはありません。他方で、授業に出席しなければ単位を貰えない可能性がありますし、生活が乱れても誰も面倒を見てくれません。</p> <p>ところが、一歩大学の外に出てみると、大学1年生というのは、「大人」と扱われる場合もあれば、そうでない場合もある、非常に厄介な(笑)存在です。大学1年生の多くは18歳、19歳ですが、この年代のみなさんは未成年であるという点で、制度上、一定の自由について制限を受けるとともに、義務を免除されています。例えば、飲酒・喫煙や公営キヤンブルが禁止されるとともに、国民年金保険料の納付が免除されるといった具合です。他方で、18歳になると、制度上「大人」と扱われる場合もあります。例えば、運転免許の取得やクラブ等への入店が解禁され、深夜労働も認められるようになります。</p> <p>このように、現代社会における「大人」の基準については、制度によって、18歳とするものと20歳とするもの大きく二分されています。では、現在の各制度の基準は果たして妥当なのでしょうか。この点、諸外国では、なんと14歳から成年と扱われる国もあります(ブルトリコなど)し、江戸時代までの日本では15歳程度で「大人」と扱われていました。つまり、国によっても時代によっても、社会における「大人」の基準は異なり、定められた一つの答えがあるわけではないということです。</p> <p>そこで、本演習では、「大人」の基準が問題となる各種のトピックをとりあげ、現行制度の趣旨や社会の実態を把握した上で、現代社会における「大人」の基準のあるべき姿を探っていくと考えています。「自分は社会で大人と扱われるべきなのか」という、まさにみなさん自身の問題を入口に、学問の世界と一緒に覗いてみましょう。それとともに、本演習を通じて、「大学での学び」に必要な、文献や資料の調査方法、レジュメの作成方法、基礎的な思考方法およびゼミでの議論方法などを学んでいたきたいと思えます。</p>	<p>必須 全角3000字以内</p> <p>セル内で改行する場合は、「Altキー」を押しながら、「Enterキー」を押してください。</p>
望ましい水準	<p>・学問的な水準 ・そもそも「大人」の基準を年齢で区切ることの特徴と限界を理解できていること ・現行制度の抱える問題点、法的、政治的、社会的、経済的といった多角的な観点から把握できていること ・現代社会における「大人」の基準について、自らの見解を論理的に説明できること</p> <p>・技術的な水準 ・適切な資料や文献を収集・読解する能力が身についていること ・論点を明確に提示したレジュメを作成できること ・ゼミ参加者が理解できるような報告や討論をできるようにすること ・論理的かつ明快な文章を書けるようになること</p> <p>以上の点を常に意識して演習に取り組んでください。そのためには、参加者のみなさんが「演習の主演」になる必要があるため、担当教員は極力発言を控え、サポート役に徹したいと考えています。</p>	<p>必須 全角2000字以内</p> <p>セル内で改行する場合は、「Altキー」を押しながら、「Enterキー」を押してください。</p>
授業計画	<p>2回での1つのトピックを取り上げたいと考えています。進行については、受講生を4つのグループに分け、概ね次のような流れで行うことを想定しています</p> <p>1. 題目 グループAとグループBには、以下に掲げるトピック(またはその他のトピック)について、現行制度支持派vs反対派でディベート(自らの主張を武装し、相手の主張を論破する)を行ってもらいます。その際、グループには、ディベートの観戦役を担ってもらうことになります。グループDには、事前予習と当日のディベートを踏まえて、質問等をしてもらう予定です。</p> <p>2. 題目 グループDには、1週目で取り上げたトピックについて、現行制度の趣旨と概要、現行制度をめぐる社会の実態、現行制度の問題点と代替案、をレジュメにまとめ、紹介してもらいます。グループA、B、Cには、事前予習とグループの当日報告に基づいて、質問等をしてもらう予定です。</p> <p>最終的に、2週目の報告グループには、そのトピックについて、ディベートを踏まえたレポートを作成してもらう予定です。</p> <p>とりあげるトピック(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未成年の飲酒禁止</li> <li>・未成年の喫煙禁止</li> <li>・未成年刑事被告人の実名報道禁止</li> <li>・18歳への選挙権の付与</li> <li>・18歳未満のクラブ等入店規制</li> <li>・18歳未満の深夜労働規制</li> </ul> <p>など</p> <p>なお、演習で取り上げるトピックに関わるゲストスピーカーを招聘したり、現場見学をしたりすることも検討しています。また、参加者のみなさんの希望によっては、ゼミ合宿を実施することも検討します。</p>	<p>必須 15回分記載してください</p> <p>セル内で改行する場合は、「Altキー」を押しながら、「Enterキー」を押してください。</p>
教材・教科書	適宜指示します	全角2000字以内
参考図書	佐藤編著『アカデミック・スキルズ(第2版)』(慶應義塾大学出版会・2012) 松本茂・河野哲也『大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法(改訂2版)』(玉川大学出版部・2015) 嵯原健介・高橋文彦・畑宏樹編『フレッシュヤーズ法学演習』(中央経済社・2016) など。	全角2000字以内
参考URL		半角1000字以内
授業以外の学習	【授業計画】欄を参照してください。いつまでもないことですが、授業時間以外にも、調査や報告の準備の時間が必要になります。また、担当教員としては、演習で企画する各種イベントへの参加(花見・宇煮・スポーツ大会等)も、広い意味で「学習」の一環であると考えています。	<p>必須 全角3000字以内</p> <p>セル内で改行する場合は、「Altキー」を押しながら、「Enterキー」を押してください。</p>
成績評価の方法	演習は学生のみなさんが主体のクラスであるため、出席は当然の前提です。やむをえず欠席する場合には、事前に担当教員まで連絡をするようにしてください。無断欠席は認めません。その上で、演習での報告内容、議論への参加状況、レポート内容を総合的に評価します。	<p>必須 全角3000字以内</p> <p>セル内で改行する場合は、「Altキー」を押しながら、「Enterキー」を押してください。</p>
成績評価の基準	「望ましい水準」で示した項目を全て満たしていればC、そのうち複数の項目を高水準で満たしていればB、概ねの項目を高水準で満たしていればAの評価が与えられます。	<p>必須 全角3000字以内</p> <p>セル内で改行する場合は、「Altキー」を押しながら、「Enterキー」を押してください。</p>
オフィスアワー		必須 全角1000字以内
留意点・注意事項	・演習の一環として、現場見学や実地調査を行うことがあります。その際には一定の費用がかかりますし、正規の演習時間外に実施する可能性があります。 ・他の演習と一緒に、合同ゼミを実施したり、各種行事に参加したりする可能性があります。	全角1000字以内
その他	・「よく学び、よく議論し、よく遊ぶ」みなさんの履修を歓迎します。 ・担当教員はみなさんを「大人」として扱いますから、このゼミを楽しくするのも、つまらなくするのも、ゼミを選択してくれるみなさん次第です。みなさんの主体的かつ積極的な参加を期待しています。	全角1000字以内
ディプロマポリシー大区分1	幅広い教養	<p>必須 ディプロマポリシーはブルダウンで選択してください。(セル右側のをクリック) 大区分を選択するとそれに対応する小区分が選択できるようになります。 大区分と小区分をセットで1つ以上選択してください。</p>
ディプロマポリシー小区分1	多角的・総合的思考(幅広い教養1)	
ディプロマポリシー大区分2	幅広い教養	
ディプロマポリシー小区分2	学問的思考の基礎(幅広い教養2)	
ディプロマポリシー大区分3	自己形成力	
ディプロマポリシー小区分3	自己学習力(自己形成力1)	
ディプロマポリシー大区分4	自己形成力	
ディプロマポリシー小区分4	コミュニケーション力(自己形成力2)	
ディプロマポリシー大区分5	行政政策学類のディプロマポリシー	
ディプロマポリシー小区分5	問題発見・調査・解決能力(行政政策学類)	
ディプロマポリシー大区分6	行政政策学類のディプロマポリシー	
ディプロマポリシー小区分6	解決能力・応用能力(行政政策学類)	
ディプロマポリシー大区分7	行政政策学類のディプロマポリシー	
ディプロマポリシー小区分7	表現力・コミュニケーション能力(行政政策学類)	
ディプロマポリシー大区分8		
ディプロマポリシー小区分8		
ディプロマポリシー大区分9		
ディプロマポリシー小区分9		
ディプロマポリシー大区分10		
ディプロマポリシー小区分10		
ディプロマポリシーその他		全角999字以内